尊光寺報

第137号
令和4年12月

徳島県阿波市市場町大野島字天神41
尊光寺

報恩講法要は短縮日程にて

新型コロナウイルスの再拡大を受けて、当番地区世話人会が開催され、報恩講法要を短縮日程にて行うことが決定されました。お斎（精進料理）の接待を取り止め、お弁当を配付することとして、18日は午前中のみの法要とします。お寺で最も大事な法要である報恩講を中止せず、なんとか執行しようと、ご門徒の皆さまの思いの中、安全に配慮しつつ勤めさせて頂きます。

日程は裏面の『法要・行事のご案内』を御覧下さい。

どなた様もお参りをお待ちしております。

副住職夫妻に長男が誕生

9月13日、副住職夫妻に第一子となる男子が誕生しました。誕生時の体重は3290グラム。現在は6キロを超え、母子ともに元気に過ごしております。

（写真は出生時と約二ヶ月後）

名は「燈樹（とうじゅ）」と命名しました。

「燈」は、お釈迦さまの「法（教え）を燈（ともしび）とし、拠り所とせよ」のお言葉から、「樹」は、親鸞聖人の「心を仏さまのお慈悲の上に樹（た）て」のお言葉から、それぞれ一字を頂きました。仏さまのお慈悲の中でスクスクと育ってほしいと願いを込めた名前となりました。

夫婦にとっては初めての子育て。何ごとも初めてのことに奮闘しながら、子どもの成長に感激をする毎日です。

どうか親子共々、皆さまのお育てをよろしくお願い致します。

正信偈講座㉜

（赤い経本一六ページ）

釈迦如来楞伽山
龍樹大士出於世
宣説大乗無上法

為衆告命南天竺
悉能摧破有無見
証歓喜地生安楽

【訓読】釈迦如来、楞伽山にして、衆のために告命したまはく、南天竺に龍樹大士世に出でて、ことごとくよく有無の見を摧破せん。大乗無上の法を宣説し、歓喜地を証して安楽に生ぜんと。

【現代語訳】お釈迦さまは『楞伽経（りょうがきょう）』というお経を説かれる中で、「将来、南インドに龍樹（りゅうじゅ）という者が現れ、物事を有や無とこだわって見る誤った見解を打ち破り、この上なく尊い大乗（だいじょう）の教えを説き、歓喜地（かんぎじ）という菩薩の位にいたり、阿弥陀仏の浄土へ往生するだろう」と仰せになった。

前回より、龍樹菩薩についてお話をしています。やんちゃの末に友人の命を失ったことをきっかけに仏門に入った龍樹ですが、始めは上座部仏教（小乗）のグループに属して修行に励んだと言われています。わずかな期間でその教えを究めた龍樹はヒマラヤの山中にて大乗仏教の経典を授けられ、その研究に没頭することとなってゆくのです。

龍樹菩薩の功績の一つが「有無の見を破す」と言われることです。有、有るとこだわるものの見方と、無、無いとこだわるものの見方の、どちらも間違いであることを示されるのです。

お釈迦さまの教えの根幹は、「縁起」の教えです。縁起とは、依って起こること。全てのものごとは、様々な因と縁が依り集まって成り立っていることです。そのものを構成する因や縁は一瞬一瞬に変化し、そのものも変化をします。

それにもかかわらず、私たちは、永遠不変の何かがあると思い込み、こうあるべきだ、こうであってほしいと、執着を起こします。これを有の見と言います。また、変化するのであれば全てのものは虚無であると執着することを、無の見と言います。

このどちらも誤りであり、全てのものは縁起によって成り立っており、様々な因と縁が仮に和合しているのであり、そのことを空（くう）と言うのであり、有でもなく無でもない中道（ちゅうどう）と言うものの見方である、と龍樹は説明をするのです。

先日、夜中に子どもの泣き声で私も目を覚まし、夫婦でオムツを交換していました。オシッコだけかなと油断していると、なんとウンチを噴射され、布団シーツも我々のパジャマもウンチにまみれてしまいました。思わず、モーッと怒りがこみ上げるかと思いましたが、次の瞬間には夫婦揃って笑いながらウンチの処理をしていました。

子どものことを理解したと思っても、実はそれは自分の理解できる範囲の一部分を切り取って思い込んでいるのに過ぎない（有）のかも知れません。理解したと思った時点で、理解する思考は止まり、自分の偏見を通じた理解になっているのです。よって、自分の理解からズレたことをしたとき、驚いたり腹を立てたりしてしまうのです。真に理解しようとするならば、いつまでも理解することなどできないと、飽くなき探求心を持ち続けることが真の理解に近づくことであり、様々な視点から観察し、異なった評価の新たな一面を発見しようとする姿勢が大切であると。つまりは、子どもというものも、縁起のものであり、仮和合であり、空であり、中道であるよと。龍樹は教えてくれているのです。

ああ何と、真の理解とは難しいことか。親である自分の理解や想像を軽々と超えてくる子どもを通して、自分のこだわる心の不確かさに気づかされるのでありました。

「悉能摧破有無見」とは、有無にこだわる我々のものの見方から、ありのままの縁起のものの見方、仏法の教えに耳を傾けよと、我々に語っている言葉に他ならないように思えます。

庫裏改築の経過報告

庫裏の改築工事は、内装工事が終わり、庫裏本体工事は無事に完了した。現在は外構工事ならびに書院との渡り廊下の工事が行われている。少しづつ荷物の移動を行い、行事で使用できるように整えている。

木内晃さん写真寄贈

法要・行事のご案内

コロナ対策のため、法要・行事の際はマスクするなど咳エチケットにご協力ください。また消毒液を置いてありますのでご利用いただき、手洗いをこまめに行いましょう。

◎御正忌報恩講法要

宗祖親鸞聖人を偲び、阿弥陀さまのお慈悲に出会わせていただく、浄土真宗門徒にとって最も大切なお勤めです。

【12月17日(土)】

午後1時より法要・法話

午後6時より逮夜法要・法話・御伝鈔拝読解説

【12月18日(日)】

午前10時より御満座法要・法話・御伝鈔拝読解説

※門徒総永代経を兼ね、昨年末よりこの一年にご往生された方の名前を読み上げてのお勤めとなります。

お昼頃　お斎(食事)お弁当配付

【法話講師】 17日は 副住職
18日は 季平博昭 師 (広島県尾道市)

【お当番】 市場東組(興崎・箸供養・西ノ岡・上ノ段・奈良坂尾開)です。よろしくお願い致します。

◎除夜の鐘

【12月31日(土)】 夜11時40分頃より

どなたでも鐘をつけます。
新たな年の始まりをお念仏とともに迎えましょう。

◎春の彼岸会永代経法要

【3月21日(火・祝)】
午後1時より法要・法話

【3月22日(水)】
午後1時より法要・法話

※22日は仏教婦人会総会を兼ねます。会食は11時半より、準備お手伝いは9時頃よりお願い致します。

【法話講師】
本願寺派布教使　岡部正顕　師(広島県　南仙坊)

◎京都本山参拝旅行

ご本山の「親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要」にお参りいたします。五十年に一度のお慶び法要ですので、お誘い合わせの上ご参加ください。

【日帰り日程】 経費1万5千円

【5月17日】朝6時半、阿波市大俣出発→各地集合→京都高台寺(観光参拝)→大谷本廟(昼食・納骨)→西本願寺(法要参拝)→淡路島(夕食)→帰路。

【1泊日程】 経費8万円

【5月16日】朝6時45分、阿波市大俣出発→各地集合→徳島空港より飛行機→羽田空港→東京築地本願寺(参拝・昼食)→浅草観光→ホテル(品川プリンス)→屋形船(夕食)

【5月17日】ホテル出発→品川駅より新幹線乗車→京都駅→大谷本廟(昼食・納骨)→西本願寺(法要参拝)→淡路島(夕食)→帰路。

※大谷本廟に納骨・分骨希望の方はお申し出ください。

※帰敬式(おかみそり)を受け、法名を希望の方は申し出下さい。

※一泊の申込は4月8日までに願いします。

副住職担当、徳島新聞カルチャー教室のご案内

各講座、受講生募集中です。

■仏教講座『御文章(ごぶんしょう)』■

「聖人一流の～」。浄土真宗中興の祖、蓮如上人が門信徒へ宛てた手紙が『御文章』です。宗祖、親鸞聖人の念仏の教えをやさしく説かれた『御文章』を、原文に沿って読み解き、仏教とは何か、念仏とは何か、一緒に学んでまいりましょう。

●毎月第3金曜日　10時半～12時　月額 3300円

■親鸞聖人と『歎異抄(たんにしょう)』■

「悪人こそが救われる!?」『歎異抄』には昔から多くの人々の心をひきつけてやまない言葉がつまっています。人間らしい矛盾を抱えながら生き抜かれた親鸞聖人の言葉を丁寧に読み解きあじわってまいりましょう。

●毎月第2月曜日　13時半～15時　月額 3300円

【教室・申込先】 徳島新聞カルチャーセンター徳島本校
徳島市寺島本町西1-5アミコ東館7階
TEL 088-611-3355

徳島新聞カルチャーセンターは、徳島本校(川内)と徳島駅前校(アミコ九階)がひとつになり、徳島駅前アミコビル七階に移動し、新しく徳島本校としてスタートしています。

令和５年 年忌表

令和5年の法事と亡くなった年

1周忌	令和 4(2022)年
3回忌	令和 3(2021)年
7回忌	平成29(2017)年
13回忌	平成23(2011)年
17回忌	平成19(2007)年
25回忌	平成11(1999)年
33回忌	平成 3(1991)年
50回忌	昭和49(1974)年
61回忌	昭和38(1963)年
100回忌	大正13(1924)年
150回忌	明治 7(1874)年
200回忌	文政 7(1824)年
250回忌	安永 3(1774)年
300回忌	享保 9(1724)年

過去帳やお位牌をご覧ください。

－2023(令和5)年ご本山参拝旅行のご案内－

今回はご本山の法要**「親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要」**に参拝します。50年に一度のお慶び法要ですので、どうぞお誘い合わせてご参加下さい。

【日帰り】と【１泊】の行程がありますので、どちらかお申し込み下さい。京都西本願寺の法要参拝・大谷本廟参拝に加えて、【日帰り】は京都高台寺の観光を、【1泊】は東京築地本願寺の参拝と東京観光を予定しております。

大谷本廟に納骨・分骨を希望の方はお申し出下さい。
本願寺にて法名を頂く帰敬式(おかみそり)を希望の方はお申し出下さい。

■日程・費用■

【日帰り】15000円（バス・昼食・夕食）

2023年5月17日　6:30阿波市大俣出発――土成・板野・鳴門、各地集合――京都――高台寺(観光参拝)――11:30大谷本廟(昼食・納骨)――13:30西本願寺(法要参拝)16:00――淡路ﾊｲｳｪｲｵｱｼｽ(夕食)――鳴門・板野・土成・大俣20:20

【1泊】80000円（バス・飛行機・新幹線・宿泊・食事）

2023年5月16日　6:45阿波市大俣出発――土成など各地集合――8:00徳島阿波おどり空港9:15―✈飛行機 JAL ✈―10:25羽田空港――11:30築地場外市場(昼食)・築地本願寺(参拝)――浅草観光――ホテル(品川プリンス)――屋形船(夕食)――ホテル

2023年5月17日　8:15ホテル出発――品川駅8:59―🚅新幹線のぞみ🚅―11:06京都駅――11:30大谷本廟(昼食・納骨)――13:30西本願寺(法要参拝)16:00――淡路ﾊｲｳｪｲｵｱｼｽ(夕食)――鳴門・板野・土成・大俣20:20

京都西本願寺

東京築地本願寺

親鸞聖人御誕生 850 立教開宗 800
ご縁を慶び、お念仏とともに

1泊の申し込みは4月8日までにお願いします。

尊光寺　0883-36-3026

令和四(2022)年

尊光寺 宗祖親鸞聖人

御正忌報恩講法要

※新型コロナの影響を受け、大切な法要ですが日程を変更して勤めます。どなたさまもお参り下さいますようご案内致します。

【十二月十七日(土)】 逮夜法要

午後一時より午後二時過ぎまで
お勤め・御伝鈔法話

午後六時より午後七時半まで
お勤め・御伝鈔法話

【十二月十八日(日)】 御満座法要

午前十時よりお昼頃まで
お勤め・御伝鈔拝読・ご法話・お斎(お弁当配付)
※門徒総永代経を兼ねてお勤めします。
昨年末よりこの一年で往生された方々のお名前を読み上げての法要です。とくにお焼香、お聴聞ください。

【法話講師】

十七日は副住職が、十八日は季平博昭師(尾道市法光寺)つとめます。

■報恩講とは

報恩講は宗祖親鸞聖人のご命日(ご正忌)をご縁として、宗祖が伝えて下さった、阿弥陀如来のお救い、南無阿弥陀仏のお心を、深く味わわせていただく法要です。この法要は浄土真宗門徒にとって最も大切なお勤めです。

親鸞聖人のご命日は弘長二年十一月二十八日(西暦1263年1月16日)であり、尊光寺では十二月第三日曜日とその前日(令和四年は十二月十七日と十八日)にお勤めします。

■御伝鈔拝読

本願寺第三代覚如上人は、親鸞聖人の生涯を文章と絵で示した絵巻物をつくられました。後に、文章と絵が分けられ、それぞれ『御伝鈔』『御絵伝』と呼ばれるようになります。

報恩講には、この「御絵伝」(四幅)を本堂に掛け、『御伝鈔』を拝読します。副住職がスクリーンにて解説します。

■お斎(食事)

尊光寺では、報恩講参拝のお接待として、参拝の皆様に精進料理が当番より支度されますが、今年はコロナ対応としてお弁当を配付させて頂きます。

■執行当番

本年(令和四年)のお当番は、**市場東組(興崎・箸供養・西ノ岡・上ノ段・奈良坂尾開)**です。本年はお斎の炊事はありませんが、受付や準備などをお願いします。またお当番として、本堂のお参りもよろしくお願いします。

※手洗い、マスクを着用なさるなど、十分にお気をつけてお参りください。消毒液を置いてありますのでお使いください。お寺は程好く換気されております。

2022（令和4）年　尊光寺報恩講日程（改）

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、大切な法要ですが、日程を変更し、感染症予防につとめつつ、おつとめいたします。
どなた様も、安心してお参りください。待ちしております。

法要日程

12月17日（土）　午後 1時　報恩講法要・御伝鈔法話
午後 6時　報恩講大逮夜・御伝鈔法話
【法話】副住職

12月18日（日）　午前10時　報恩講御満座法要・
御伝鈔拝読・法話
※門徒総永代経を兼ね、昨年末よりこの一年でご往生された方のお名前を読み上げての法要です。どうぞお参りの上、お焼香、お聴聞ください。

お昼頃　お斎お弁当配付

【法話講師】季平博昭師（尾道市法光寺）

どのお時間の法要も自由にご参拝下さい。
みなさまのお参りをお待ちしております。

※本年のお当番は市場東組です。宜しくお願い致します。
市場東組は、興崎北中南、箸供養、西ノ岡、上ノ段南北、奈良坂尾開です。

【ご講師】

本願寺派布教使 季平博昭 師（広島県尾道市 法光寺）

布教使として全国区でご活躍中の先生です。また、心理カウンセラーとしても活動され多くのお悩みの相談をなされています。あたたかな仏さまのお慈悲を伝えて下さいます。

浄土真宗にとって最も大切な報恩講法要です。どなた様もお参りくださいませ。